

南の風 2019 女子日本代表国際強化試合

～ 水戸大会特集号 I ～

南支部ミニバスケットボール連盟

会長 藤原 敬一

5月31日（金）2019 女子日本代表国際強化試合三井不動産カップ第1戦が、茨城県のアダストリアみとアリーナで行われました。相手は昨年のワールドカップベスト4に入り、FIBA ランキングを12ポイント上げ、現在16位のベルギー代表です。因みに日本は現在10位です。

観戦記です。結果とスタッツ、個人得点ランキングを書きます。

《結果》 日本代表 91 - 75 ベルギー代表

《主なスタッツ》

	2 P	3 P	F T	O R	D R
日本	11/22 50%	18/32 56%	15/17 88%	7	17
ベルギー	23/43 53%	7/15 47%	8/12 67%	13	17

※TO（ターンオーバー）は日本12 ベルギー17

《女子日本代表の個人得点ランキングベスト5》

	総得点	3 P	2 P	F T
林 咲希	19	5/8	1/2	2/2
長岡 萌映子	12	1/1	2/2	5/5
宮澤 夕貴	12	4/6	0/1	0/0
高田 真希	11	2/4	1/2	3/4
本橋 菜子	10	2/2	2/3	0/0

ずばり、3Pの確率は圧倒的でした。32本中18本決めたことは、もちろんすごいことですが、試投数32というものの凄いです。女子日本代表の決意、覚悟を感じました。「私たちはこう戦うんだ!」という決意です。リオ五輪や2018年のワールドカップよりもさらに、『ストレッチ4』が進化した印象でした。

従来の『ストレッチ4』では、PFがアウトサイドにポジション広く取り3Pシュートを打つことによって、相手ディフェンスのスペースを広げ攻撃スペースを作る役割を果たすことでした。ですが現在の女子日本代表の戦術は、PFが外に出てスペースを広げるだけでなく、SFやSGがスクリーンを絡めながら外で3Pシュートを打つのです。また相手ディフェンスが対応した場合は、エキストラパスで空いている選手にパスを供給して仕留めるのです。そしてこの日はその3Pの確率が半端ではありませんでした。特に27番林選手の3本連続の3Pシュートは圧巻でした。 次号に続きます。